

一般質問

つづき 幸夫 議員



地域の住民広場（六栗区）

問 地域の住民広場設置を

答 期待に応えるように進めたい

地域の住民広場は、安全安心の場所であり、憩いの場である。しかし、住民広場のない地域がある。地域の住民広場設置を問う。

問 地域の住民広場とは何か、町の考えは。

答 住民ども部長 地域の住民の健康増進と連帯感の育成を図るなどの多目的の広場である。

問 幸田町の住民広場は、いくつあるのか。

答 町内23区のうち11区にそれぞれ1カ所ある。

問 なぜ住民広場の有り無しがあるのか。

答 土地の確保が難しい地区もあり、小学校の運動場や農村公園などを利用している。

問 住民広場が設置される条件は。

答 地元からの強い要望が必須で、日常の管理は地元で行うこと。

問 岩堀区には住民広場がない。区民が安心して使える、住民広場の設置を問う。

答 町長 区民の総意で適地を選んでいただき、期待に応えるような形で進めたい。

問 免許返納後の移動手段の確保を

答 様々な観点から施策展開が必要

高齢者の免許返納促進と、返納後の移動手段の確保を問う。

問 幸田町での、高齢者ドライバーの返納状況は。

答 総務部長 平成30年は1年間で91人、令和元年は10月31日までで87人。

問 幸田町は、免許返納しにくい状況になっていないか。

答 本町のように農村集落が点在する自治体では、免許証を返納しにくい状況があると推測する。

問 免許返納促進のため、電動アシスト自転車、三輪車、電動シニアカーの購入補助をだしたらどう

か。

答 企画部長 移動に関する多様な選択肢を用意することが重要である。

問 国の補助制度の動向を見ながら総合交通体系の中で検討する。

問 電動シニアカーでは、荒れていて走れない歩道がある。歩道の状況を、町は把握しているのか。

答 建設部長 状況は、十分に把握できていない。

問 電動シニアカーで、安全安心に走れる歩道に整備を。

答 歩道の小規模な修繕や草刈りなど迅速な維持補修に努める。

問 高齢者の免許返納後の移動手段確保の考えは。

答 企画部長 様々な観点からの施策展開が必要と考え、来年度から社会実験をスタートさせていきたい。



丸山千代子 議員

問 高校卒業まで通院医療費無料に

答 財政運営を考慮し取り組みたい



県立幸田高等学校（卒業式）

問 高校卒業までの入院医療費が9月から無料化となる。合わせて通院も無料化の実施を問う。

答 県下の実施状況と今後拡大する自治体の把握は、**健康福祉部長** 8市町村で実施され、令和2年

問 度は8市町が取り組む。通院にかかる費用見込みは。

答 1年間で2160万円。町長は高校世代までの入院・通院の助成を検討し、形にしたいと答弁した経過がある。高校卒業まで通院医療費無料化実

問 **町長** 財政運営を考慮し、近隣市に遅れない様に取り組みたい。

答 **市民後見人の養成を** 体制づくりに努めていく

問 認知症や障害などで、判断能力が不十分な人の生活を支援する成年後見制度が社会福祉協議会に設置された。制度の充実を問う。

問 相談体制と活動状況は。**健康福祉部長** 社会福祉士1名を配置し、前年度39件の相談を受けた。問 周知はどのようにしているか。

答 介護事業他、各種団体に啓発している。問 ひとり暮らし・認知症高齢者が増加している。権利擁護という立場の市民後見人の養成を。答 体制づくりに努めていく。

問 成年後見制度の充実を。市民後見人も含め、充実を図っていく。

問 **就学援助支給対象の拡充を**

答 **周辺の状況を注視し検討する**

問 就学援助の拡充とスクーリング・ソーシャルワーカーの配置など教育支援を問う。

問 生活保護基準額削減の連動で、就学援助対象からはずれる世帯はあるか。**教育部長** 削減影響による該当世帯はない。問 卒業アルパム代が就学援助の支給対象となった。拡充を。

問 周辺の状況を注視しながら、教育委員会内部で検討する。問 福祉と教育をつなぐスクールソーシャルワーカーの配置を。

答 福祉部門と連携しながら検討する。